美味しまね認証様式事例集

【米・青果物編】

平成２５年３月

島根県農林水産部

帳票類・保管書類一覧

1. 作成帳票類

様式番号	帳票名	美味しまね認証　生産工程管理基準　対応番号	ページ
①	「組織表」	1. 1. 1、2. 4. 1、2. 7. 1	6
②	「圃場地図」「圃場一覧」	1. 2. 1	7
③－1 ③－2	「作業記録」	1. 2. 1、2. 11. 2	8, 9
④	「土地の使用履歴」「圃場のリスク検討表」	1. 2. 2、2. 1. 1	10
⑤	「研修受講記録」	1. 3. 1	11
⑥	「生産計画書」	1. 4. 1、3. 3. 4	12
⑦	「農産物の出荷に関する記録」	1. 7. 1、2. 11. 2	13
⑧	「自己点検チェックリスト」	1. 8. 1	14
⑨	「種苗台帳」	2. 2. 1、2. 2. 2	15
⑩	「肥料在庫管理台帳」	2. 3. 1	16
⑪	「農機点検整備記録」	2. 4. 3、2. 7. 6、2. 10. 2(米)、4. 3. 1	17
⑫	「肥料使用記録」	2. 4. 5、2. 4. 6、3. 2. 2、3. 3. 2	18
⑬	「農薬在庫管理台帳」	2. 5. 1	19
⑭	「農薬使用記録」	2. 7. 2、2. 7. 3、2. 7. 4、2. 7. 8、 3. 3. 2、3. 3. 3、3. 3. 4	20
⑮	「廃棄物処分記録」	2. 7. 7、2. 8. 1、2. 8. 2、3. 4. 3	21
⑯	「清掃記録」「駆除対策」「駆除記録」	2. 10. 2、2. 10. 3(米)	22
⑰	「穀粒水分記録」	2. 10. 2(米)	23
⑱	「クレーム対応マニュアル」	2. 11. 1、2. 11. 4	24
⑲	「クレーム対応記録」	2. 11. 1、2. 11. 4	25
⑳	「緊急連絡先一覧」	4. 6. 1、4. 6. 2	26
㉑	「事故発生時対応マニュアル」	4. 6. 1、4. 6. 2	27
㉒	「危険な場所・作業・機械一覧」	4. 1. 1	28

2. 掲示物

掲示例番号	掲示物名	美味しまね認証　生産工程管理基準　対応番号	ページ
①	肥料散布機の運転前チェックポイント	2. 4. 3	29
②	農薬散布機の運転前チェックポイント	2. 7. 6	29
③	農薬散布時の手順	2. 7. 6、2. 7. 7	30
④	農薬保管場所の表示	2. 5. 2	31
④	農薬保管庫の管理	2. 5. 2	31
④	農薬空き容器など、ごみ分別の表示	2. 8. 1、2. 8. 2、3. 4. 3	31
⑤	来訪される方々へ	2. 10. 1	32
⑥	「作業ルール」	2. 9. 1、2. 10. 1、4. 1. 1	33
⑦	「手洗いのルール(きちんと手を洗ってますか？)」	2. 9. 1、2. 10. 1、2. 10. 2、4. 1. 1	34
⑧	「事故を防ぐためのルール」	4. 1. 1	35, 36
	危険場所の表示	4. 1. 1	－
	燃料タンク危険物表示	4. 4. 1	－
	出荷規格表	2. 11. 1	－

※ここで掲載している様式等は、あくまで事例として示したものです。
　既存の様式や資料を活用・改良するなどし、必要な項目が記載されている様式を独自に作成されても結構です。

3. 保管書類　　以下の書類も備えましょう

保管書類記号	保管書類名	美味しまね認証 生産工程管理基準 対応番号
A	島根県農業技術センターで作成した「土質分布図」	1. 2. 2
B	特許証書、申請書・願書の写し等の「知的財産の保護に関する書類」	1. 2. 3
C	農産物と触れる水や氷の水源が水道水以外の場合は、厚生労働省登録機関（島根県環境保健公社等）の「水質検査結果」	2. 1. 2（青果物）
D	登録品種育成者権者との「栽培許諾契約書」	2. 2. 1
E	「生産業者保証票」「肥料取締法に基づく表示」の写しやパンフレット等の「有機質肥料の原材料・生産者に関する資料	2. 4. 2
F	養液栽培における培養液の交換や施設管理の記録	2. 4. 4（青果物）
G	「農薬管理指導士」「普及指導員」「毒物劇物取扱者」「薬剤師」の認定証等	2. 7. 1
H	「環境農業宣言」	3. 1. 1
I	農業普及部等の機関による「土壌診断結果」 島根県農業技術センターホームページにて公開している「肥料コスト低減マニュアル」「土壌肥料対策指針」	3. 3. 1
J	島根県農業技術センターホームページにて公開している「施設園芸の省エネルギー対策」	3. 5. 1
K	市町村等が実施した健康診断の受診結果	4. 1. 1
L	「労災保険証書」「傷害保険証書」	4. 2. 1
M	機械等の「取扱説明書」	4. 3. 1
N	農業協同組合等が作成した地域の栽培基準・暦	2. 3. 1、2. 5. 1
O	農薬のパンフレット（チラシ）	2. 7. 2

■「美味しまね認証制度」生産工程管理基準と関連様式一覧
【共通項目】

項目		管理すべきポイント		帳票類	掲示物	保管書類
1 経営全般	1.1 責任の明確化	1.1.1	責任と権限が明確になっているか。	①		
	1.2 経営資源の管理	1.2.1	すべての圃場と施設を把握し、それぞれでの作業を記録しているか。	②、③		
		1.2.2	圃場の過去の使用履歴や周辺環境を把握し、有害物質による土壌汚染がないことを確認しているか。	④		A
		1.2.3	農業者自らが開発した知的財産を保護・活用しているか。			B
	1.3 食の安全や法令遵守	1.3.1	生産者は年1回以上、食の安全や法令に関する研修等を受けているか。	⑤		
	1.4 生産計画の作成	1.4.1	生産計画書があるか。	⑥		
	1.5 圃場の衛生管理	1.5.1	整理整頓し清潔な農場を維持しているか。			
	1.6 消費者の信頼構築	1.6.1	生産者は積極的に消費者と接する機会を持ち、消費者の意識を把握する努力を行っているか。			
		1.6.2	包装ラベルに生産者名を分かりやすく表示するなど、消費者が安心して購入できるような情報提供を行っているか。			
	1.7 記録の保存	1.7.1	記録・帳票類を適切に保管しているか。	⑦		
	1.8 自己点検	1.8.1	生産工程管理基準の「管理すべきポイント」の自己点検を行っているか。 また、自己点検の結果、不適合だった項目を改善しているか。	⑧		
2 農産物の安全	2.1 水の安全性確保	2.1.1	未処理の下水が圃場に入ってこないようにしているか。また、灌漑用水中に農産物に危害を及ぼす要因がないか。	④		
	2.2 種苗の安全性確保	2.2.1	品種登録制度を守っているか。	⑨		D
		2.2.2	種苗の品質を確認し、記録している。また、種苗に対する農薬の使用を記録しているか。	⑨		
	2.3 肥料の適正保管	2.3.1	肥料は台帳により管理されているか。	⑩		N
		2.3.2	肥料が農産物、種苗、梱包材、農薬などと接触しないように、また水源を汚染しないように保管しているか。			
	2.4 肥料の適正利用	2.4.1	施肥の責任者が決まっているか。その責任者は施肥に関する十分な知識を持っているか。	①		
		2.4.2	堆肥などの有機質肥料は、施肥前にそのリスクを把握し、リスクが大きいと判断される問題点について対処したか。			E
		2.4.3	肥料・堆肥散布機の使用前点検を毎回行い、正確に散布できることを確認しているか。	⑪	①	
		2.4.5	施肥について適切に記録しているか。	⑫		
		2.4.6	生活排水や人糞を使用していないか。	⑫		
	2.5 農薬の適正保管	2.5.1	農薬は台帳により管理されているか。	⑬		N
		2.5.2	農薬は適切な場所で適切な方法で保管されているか。		④	
	2.6 ドリフト対策	2.6.1	農薬のドリフト（飛散）の危険性について把握し、対策をとっているか。			

項目		管理すべきポイント		帳票類	掲示物	保管書類
2 農産物の安全	2.7 農薬の適正利用	2.7.1	農薬使用の責任者が決まっているか。その責任者は農薬に関する十分な知識を持っているか。	①		G
		2.7.2	登録農薬及び特定農薬だけを使用しているか。	⑭		O
		2.7.3	農薬の収穫前日数と使用回数は守られているか。	⑭		
		2.7.4	農薬の準備・散布はラベルの指示に従い、正確に希釈しているか。	⑭		
		2.7.5	農薬散布を準備する場所は、農産物や環境に危害のない状態か。			
		2.7.6	農薬散布機の使用前点検を毎回行い、正確に散布できることを確認しているか。	⑪	②、③	
		2.7.7	農薬使用後、残った農薬は適切に処理し、農薬散布機を洗浄しているか。	⑮	③	
		2.7.8	農薬散布を適切に記録しているか。	⑭		
	2.8 農薬の適正処分	2.8.1	農薬の空容器は適切に保管し、適切に処分しているか。	⑮	④	
		2.8.2	最終有効年月を過ぎた農薬や使用禁止となった農薬は安全に保管・識別し、適切に処分しているか。	⑮	④	
	2.9 収穫の過程	2.9.1	収穫して農産物取扱い施設へ輸送するまでの過程における農産物の安全に関するリスクを把握しており、そのリスクを減らすための対策、ルール、手順を定めているか。その対策等を作業者全員に周知・実行させているか。		⑥、⑦	
	2.10 農産物の取扱	2.10.1	農産物取扱いの作業と施設について、農産物の安全に関するリスクを把握しており、そのリスクを減らすための対策、ルール、手順を定めているか。その対策等を作業者全員に周知・実行させているか。		⑤、⑥、⑦	
		2.10.2	適切な施設で農産物を保管・選別・包装しているか。	⑯、⑰		
	2.11 商品管理とトレーサビリティー	2.11.1	商品管理が特定の責任者のもとで行われているか。その商品管理責任者は商品に関して十分な知識を持っているか。	⑱、⑲		
		2.11.2	出荷先との間にトレーサビリティーのしくみがあるか。	③、⑦		
		2.11.3	認証された農産物と他の農産物が混同することのないようにライン等で区別しているか。			
		2.11.4	出荷物に対する問い合わせやクレームがあった場合、それに適切に対処しているか。	⑱、⑲		
3 環境への配慮	3.1「環境農業宣言」	3.1.1	環境に配慮した青果物の生産を行うことを「環境農業宣言」により宣言し、実践しているか。			H
	3.2 土壌や水の保全	3.2.1	土壌流出を食い止めるような耕作技術を利用しているか。			
		3.2.2	堆肥の使用など、よい土作りのための努力を行っているか。	⑫		
	3.3 環境負荷低減に配慮した肥料・農薬使用	3.3.1	肥料の種類と量を決めるために、土壌診断（または培養液の分析）を行うなど、施肥量を減らす工夫をしているか。			I
		3.3.2	使用した農薬や肥料が地下水や河川水などの水源を汚染しないように工夫しているか。	⑫、⑭		
		3.3.3	環境負荷低減を図るため、化学農薬散布を減らす工夫をしているか。	③、⑭		
		3.3.4	耐性を生じないような防除計画になっているか。	⑥、⑭		
	3.4 ごみの減少やリサイクル	3.4.1	生産過程で出るごみを減らす努力をしているか。			
		3.4.2	出荷・流通過程でごみを減らす努力をしているか。			
		3.4.3	生産過程で出るごみは適切に処理しているか。	⑮	④	
	3.5 省エネ対策	3.5.1	機械や施設を使用する際に、不必要・非効率的なエネルギー消費がないよう工夫しているか。			J
	3.7 生物多様性	3.7.1	野生動植物を把握し、その対策をとっているか。			

項目		管理すべきポイント		帳票類	掲示物	保管書類
4 作業者の安全	4.1 危険作業の把握	4.1.1	作業者の健康と作業時のリスクを把握しており、そのリスクを減らすための対策、ルール、手順を定めているか。その対策等を作業者全員に周知・実行させているか。	㉒	⑥、⑦、⑧	K
	4.2 保険の加入	4.2.1	事故後の農業生産の維持のため、労災保険に加入しているか。			L
	4.3 機械等の適正な利用	4.3.1	安全な農業機械を使用しているか。	⑪		M
	4.4 燃料等の適正な管理	4.4.1	適切に燃料を保管しているか。			
	4.5 服装及び保護具の着用等	4.5.1	作業者は農薬のラベルの指示に従って適切な防護服を着用しているか。防護服と防護装備を適切に保管しているか。			
	4.6 事故後の対応	4.6.1	事故や緊急事態の対応はすべての作業者に明確に理解されているか。緊急時の手順は表示されているか。	⑳、㉑		
		4.6.2	作業者が事故にあった場合に対処する設備があるか。	⑳、㉑		

【米　独自項目】

項目		管理すべきポイント		帳票	掲示物	保管書類
1経営全般	1.2 経営資源の管理	1.2.2	圃場の過去の使用履歴や周辺環境を把握し、カドミウム等の有害物質による土壌汚染がないことを確認しているか。必要に応じ、カドミウムの低減対策として適正な水の管理を行っているか。	④		A
2農産物の安全	2.10 農産物の取扱	2.10.2	農産物は、適切な施設で乾燥・選別し、水分含量を管理しているか。 収穫物の水分含量を適切に管理している。 ①水分計を用いて穀粒水分を確認する。 ②収穫後、速やかに乾燥するか通風装置のついた設備に一時保管する。 ③乾燥機は定期的に整備する。	⑪、⑰		
		2.10.3	適切な施設で農産物は貯蔵しているか。	⑯		
3環境への配慮	3.2 土壌や水の保全	3.2.1	土壌流出を食い止めるような耕作技術を利用しているか。特に水田代かき後の濁水流出の防止対策を実施しているか。			
	3.3 環境負荷低減に配慮した肥料・農薬使用	3.3.2	使用した農薬や肥料が地下水や河川水などの水源を汚染しないように工夫しているか。 水田からの農薬流出を防止する対策として、農薬のラベルに記載されている止水期間を遵守し、畦畔等の整備を行い、水源を汚染しないよう工夫している。	⑭		

【青果物　独自項目】

項目		管理すべきポイント		帳票	掲示物	保管書類
2農産物の安全	2.1 水の安全性確保	2.1.2	農産物を最後に洗う水、または輸送時に農産物と触れる氷は衛生的に取り扱われており、飲んでも害がないものか。			C
	2.4 肥料の適正利用	2.4.4	養液栽培の場合、培養液の汚染防止対策をとっているか。			F
	2.7 農薬の適正利用	2.7.4	農薬の準備・散布はラベルの指示に従い、正確に希釈しているか。 土壌燻蒸剤を使用する場合は、被覆することで外部への拡散を防いでいる。	⑭		
	2.10 農産物の取扱	2.10.2	適切な施設で農産物を保管・選別・包装しているか。 りんごにおける、保存中に青カビが発生しないようにかび毒（パツリン）汚染の低減対策の検討を行い、実施している。	⑯		
3環境への配慮	3.6 特定外来生物	3.6.1	外来生物を適切に管理をしているか。			

様式①

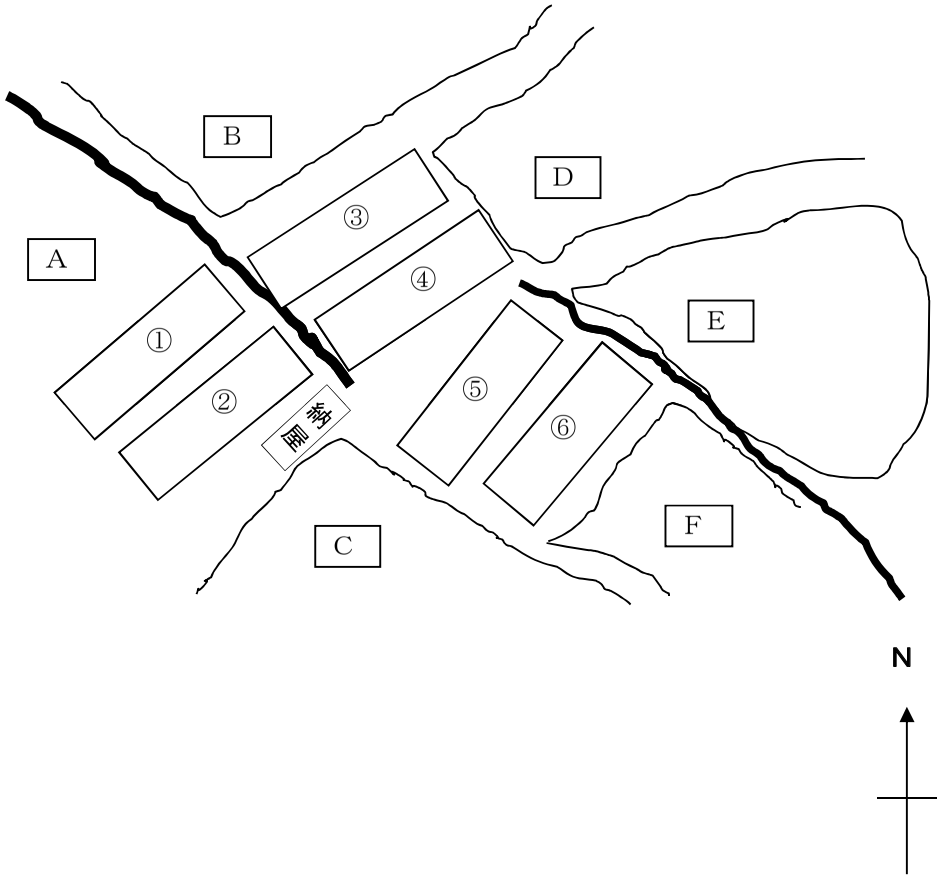
○○農場組織表

役　割	氏　名	主な職責
農場（代表）		①　農場の総括 ②　栽培計画 ③　労働安全 ④　労務条件・健康管理
施　肥		①　ほ場の透排水性の改善 ②　堆肥・肥料リスク管理 ③　土づくり、施肥作業 ④　肥料保管・在庫管理 ⑤　肥料散布機の点検・管理 ⑥　土壌流亡対策
農薬使用		①　総合的病害虫管理 ②　農薬使用 ③　農薬保管・在庫管理 ④　農薬噴霧器の点検・管理
商品管理		①　収穫・調製作業リスク管理、対策周知 ②　トレーサビリティ ③　品質管理 ・農産物の規格、等級の管理 ・梱包及び商品の重量、数量管理 ・商品の表示の管理 ・農産物の安全や品質の確保 ・商品に関するクレーム対応

様式②

圃場地図・圃場一覧

農場名	○○農場	作成日	年　月　日	
作成者	□■□■	TEL		
圃場・施設名	所在地	栽培品目	面積(a)	備考
①	○○市※※町△△番地1	ほうれんそう	3	
②	○○市※※町△△番地2	ほうれんそう	3	
③	○○市※※町△△番地3	トマト	3	
④	○○市※※町△△番地4	トマト	4	
⑤	○○市※※町△△番地5	トマト	4	
⑥	○○市※※町△△番地6	きゅうり	4	
納屋	○○市※※町△△番地7	ー	ー	農薬・肥料保管庫



隣接圃場の状況

氏名	圃場名・番号	栽培品目	面積(a)	備考
●●　○	A	水稲		
××××	B	水稲		
◎◎◎◎	C	水稲		
◎◎◎◎	D	水稲		
◎◎◎◎	E	水稲		
◎◎◎◎	F	大豆		

様式③ － 例①

農作業記録

農場名		記録者		圃場名：	年　　月分

月　日　（　）			月　日　（　）			月　日　（　）			月　日　（　）		
氏名	場所	作業内容(番号)	氏名	場所	作業内容(番号)	氏名	場所	作業内容(番号)	氏名	場所	作業内容(番号)

月　日　（　）			月　日　（　）			月　日　（　）		
氏名	場所	作業内容(番号)	氏名	場所	作業内容(番号)	氏名	場所	作業内容(番号)

※1 収穫・出荷した圃場、作物、量、出荷先を記入する
※2 かん水した量または時間を記入する
※3 農薬・肥料使用の詳細は、農薬・肥料使用記録に記入する

番号	作業内容	番号	作業内容	番号	作業内容
①	ビニール被覆	⑥		⑪	
②		⑦		⑫	
③		⑧		⑬	
④		⑨		⑭	
⑤		⑩		⑮	

様式③ ― 例②

農作業記録

農場名									
責任者									
圃場番号	1			2			3		
面積(a)									
	作業月日	作業内容	作業者	作業月日	作業内容	作業者	作業月日	作業内容	作業者
作業内容 (従事者)		※ どのような作業を誰が行ったのか記載します。							
肥料 (商品名、使用量)		※ 肥料の使用量を記入します。記入した場合は肥料台帳にも記入します。							
農薬 (商品名、使用量)		※ 農薬の使用量を記入します。記入した場合は農薬台帳にも記入します。							
収穫 調整 出荷		※ 収穫量、出荷量を記入します。記入した量は出荷台帳にも記入します。							
特記事項		※ 生育状況など今後の生産の参考となるメモ等を記入します。							

様式④

土地の使用履歴表

氏　名	
圃場名	

使用年・月	栽培作目	備考
年　　月		
年　　月		
年　　月		
年　　月		
年　　月		
年　　月		
年　　月		
年　　月		
年　　月		

圃場のリスク検討表

検討内容	検討結果	対策
水田における重金属による汚染リスク	カドミウム　高・低 ひ素　高・低	リスクが高い場合は分析を行い確認する。基準値(※)を上回る場合は作付を行わない
農業機械の使用時の危険	有・無	リスクが高い場合は、危険箇所の表示等の対策をとる
生育障害	有・無	原因追究をし、対策を講じる
周辺環境に影響を与える工場・施設、廃棄物による汚染リスク	高・低	リスク検討をし、状況に応じて対策を講じるか、作付を行わない

※ 基準値

カドミウム　玄米1kgあたり1mg以上
銅　　土壌1kgあたり125mg以上
ひ素　　土壌1kgあたり15mg以上

様式⑤

研修受講記録

氏名	
記入日	年　月　日

NO.	開催日時	研修会･勉強会の概要(名称/主催/場所など)	参加者氏名	内容･メモ
1	年　日　日			
2	年　日　日			
3	年　日　日			
4	年　日　日			
5	年　日　日			
6	年　日　日			
7	年　日　日			
8	年　日　日			
9	年　日　日			
10	年　日　日			
11	年　日　日			
12	年　日　日			
13	年　日　日			
14	年　日　日			
15	年　日　日			

様式⑥

生産計画書

農場名		作成者名		作成日			
圃場名・番号		栽培面積		作型			
作物名		品種名		予想収穫量		出荷先	

栽培スケジュール

ビニール被覆予定日		加温開始日		発芽予定日		開花日		収穫開始日	

月　旬	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
作　型		∩・・・・・・・・・○・・・・・・・・・●～●－－－－－－－－－－－－－★～★						∩・・・・・・・・・○・・・・・・・・・●～●－－－－－－－－－－－－－★～★				
主な作業内容												

∩:被覆　○:発芽期　●:開花期　★:収穫

使用予定農薬

対象病害虫	農薬名	成分	希釈倍数	使用時期	使用回数

肥料名	成分量	使用量

様式⑦

出荷記録

責任者氏名		記入年月	年　月				
圃場名		作物名・品種名					
出荷日	総出荷量(c/s)	出荷先・出荷量（c/s）					収穫日
		A	B	C	D	E	
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／
／							／

様式⑧

自己点検不適合の改善記録

責任者氏名		点検日	年　月　日
記入日	年　月　日		
改善必要事項	項目	.　.	

改善記録・内容

様式⑨

種苗台帳

氏名	
記入日	

NO	作物名	品種名	購入先 （※栽培履歴）	購入日 （※採種日）	入り数 購入数量	遺伝子組み換えの有無	ロット番号（製造番号）／生産地（国）／有効期限（採種年月日）／使用農薬と使用回数／などが記載された部分を貼り付けるか、書き写してください。	
1				年 月　日	粒 個	有／無	ロット番号： 有効期限： 使用農薬：	生産地： 使用回数
2				年 月　日	粒 個	有／無	ロット番号： 有効期限： 使用農薬：	生産地： 使用回数
3				年 月　日	粒 個	有／無	ロット番号： 有効期限： 使用農薬：	生産地： 使用回数
4				年 月　日	粒 個	有／無	ロット番号： 有効期限： 使用農薬：	生産地： 使用回数
5				年 月　日	粒 個	有／無	ロット番号： 有効期限： 使用農薬：	生産地： 使用回数
6				年 月　日	粒 個	有／無	ロット番号： 有効期限： 使用農薬：	生産地： 使用回数
7				年 月　日	粒 個	有／無	ロット番号： 有効期限： 使用農薬：	生産地： 使用回数
8				年 月　日	粒 個	有／無	ロット番号： 有効期限： 使用農薬：	生産地： 使用回数
9				年 月　日	粒 個	有／無	ロット番号： 有効期限： 使用農薬：	生産地： 使用回数
10				年 月　日	粒 個	有／無	ロット番号： 有効期限： 使用農薬：	生産地： 使用回数

様式⑩

肥料在庫管理台帳

農場名		責任者	
作成日	年　　月　　日		

No,	肥料名	容量	成分量	在庫管理							
1				日付	／	／	／	／	／	／	／
				入庫							
				出庫							
				在庫							
2				日付	／	／	／	／	／	／	／
				入庫							
				出庫							
				在庫							
3				日付	／	／	／	／	／	／	／
				入庫							
				出庫							
				在庫							
4				日付	／	／	／	／	／	／	／
				入庫							
				出庫							
				在庫							
5				日付	／	／	／	／	／	／	／
				入庫							
				出庫							
				在庫							
6				日付	／	／	／	／	／	／	／
				入庫							
				出庫							
				在庫							

様式⑪

農機点検整備記録

氏名		記入日	

No,	機械名(型式･規格･ﾒｰｶｰ名)	識別番号	保管場所	使用用途	備考
1					
	実施日	実施内容および部品名称		別紙明細	作業者(委託業者名)
				有 ・ 無	
				有 ・ 無	
				有 ・ 無	
				有 ・ 無	
				有 ・ 無	
2	機械名(型式･規格･ﾒｰｶｰ名)	識別番号	保管場所	使用用途	備考
	実施日	実施内容および部品名称		別紙明細	作業者(委託業者名)
				有 ・ 無	
				有 ・ 無	
				有 ・ 無	
				有 ・ 無	
				有 ・ 無	
3	機械名(型式･規格･ﾒｰｶｰ名)	識別番号	保管場所	使用用途	備考
	実施日	実施内容および部品名称		別紙明細	作業者(委託業者名)
				有 ・ 無	
				有 ・ 無	
				有 ・ 無	
				有 ・ 無	
				有 ・ 無	

様式⑫

肥料使用記録

農場名			責任者名			提出日	年　月　日
圃場名		圃場面積		作物名		品種名	
発芽日	年　月　日	開花日	年　月　日	収穫開始日	年　月　日	収穫終了日	年　月　日

日付	作業者名	肥料（商品名）	成分量	使用量	使用方法（散布機）	使用後の機械洗浄
／		◎◎バーク堆肥	N〇%、P〇%、K〇%、C●%	●●●kg	マニュアスプレッダー	✔
／		なたね油かす	N●%	◎◎kg	手散布	
／		有機入り◎◎配合肥料	N●%、P●%、K◎%	●kg	手散布	
／		※※石灰	石灰■■%	●●kg	手散布	
／						
／						
／						
／						
／						
／						
／						
／						
／						
／						
／						

様式⑬

農薬在庫管理台帳

農場名		責任者	
作成日	年　　月　　日		

No,	区分	農薬名（商品名）	容量/剤型	在庫管理							
1	殺菌剤	商品名：	容量	日付	／	／	／	／	／	／	／
	殺虫剤	成分名：		入庫							
	除草剤		剤型	出庫							
	ホルモン剤	農水省登録番号：		在庫							
2	殺菌剤	商品名：	容量	日付	／	／	／	／	／	／	／
	殺虫剤	成分名：		入庫							
	除草剤		剤型	出庫							
	ホルモン剤	農水省登録番号：		在庫							
3	殺菌剤	商品名：	容量	日付	／	／	／	／	／	／	／
	殺虫剤	成分名：		入庫							
	除草剤		剤型	出庫							
	ホルモン剤	農水省登録番号：		在庫							
4	殺菌剤	商品名：	容量	日付	／	／	／	／	／	／	／
	殺虫剤	成分名：		入庫							
	除草剤		剤型	出庫							
	ホルモン剤	農水省登録番号：		在庫							
5	殺菌剤	商品名：	容量	日付	／	／	／	／	／	／	／
	殺虫剤	成分名：		入庫							
	除草剤		剤型	出庫							
	ホルモン剤	農水省登録番号：		在庫							
6	殺菌剤	商品名：	容量	日付	／	／	／	／	／	／	／
	殺虫剤	成分名：		入庫							
	除草剤		剤型	出庫							
	ホルモン剤	農水省登録番号：		在庫							

様式⑭

農薬使用記録

農場名		責任者名		提出日	年　月　日

圃場名		圃場面積		作物名		品種名	
発芽日	年　月　日	開花日	年　月　日	収穫開始日	年　月　日	収穫終了日	年　月　日

日付	作業者名	農薬（商品名）／農水省登録番号	成分名	対象病害虫	使用量	希釈倍率	収穫前日数	使用方法（散布機）	使用後の機械洗浄
／									
／									
／									
／									
／									
／									
／									
／									
／									
／									
／									
／									
／									
／									
／									

様式⑮

廃棄物処分記録

農場名	
責任者	

記入年月日	年　月　日

廃棄物	保管場所	保管量	処理年月日	処理方法
廃プラスチック			年　月　日	
廃ビニール			年　月　日	
廃油			年　月　日	
農薬空き容器			年　月　日	
最終有効年月を過ぎた農薬（商品名）			年　月　日	
			年　月　日	
			年　月　日	
			年　月　日	
			年　月　日	
			年　月　日	
			年　月　日	

様式⑯

清掃、動物･害虫駆除記録

責任者		記入年月	年　　月
場所			

実施日	内容	駆除対象動物･害虫名	清掃･駆除方法	作業者名
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			
／	清掃・動物駆除・害虫駆除			

様式⑰

穀粒水分記録

作業者							
乾燥開始日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日	月　日
圃場名							
品種名							
乾燥前　水分率(%)							
設定(時間、温度等)							
乾燥後　水分率(%)							
備考							

様式⑱

クレームの対応　＝対応のポイント＝

１　相手の言い分を聞く

●まずは相手の言い分をしっかり聞く

「いつ」「誰が」「何を」「どのように」「なぜ」その事由が起きたのかを、説明や反論をせずに聞く

商品購入日、商品購入場所、商品名（ロット番号）、購入後の保管状況、問題発生日時、現在の在庫（商品の残り）の有無などを聞き取る

●冷静に対応する

相手が興奮している場合にこそ、対応者は落ち着いて話を聞く

２　判断する

●言い分の分析

言い分を聞いたら「その原因は何か」「自分側か相手側か」「誤解か説明不足か」等を、様々な視点から分析を行う

３　具体的に詫びる

●原因を明示して詫びる

原因が何か分析（追求）できたら、そのクレームの元となる事実について具体的に詫びる

４　解決と納得

●代案または善後策の提案

クレームの元となる原因の理由を説明した上で、解決案を示し、納得していただく

●その場で解決できない事案の場合

クレームの内容が重大なものと判断される場合は、「後で（〇〇までに）こちらから改めて電話する（訪問する）」または「責任者から改めて連絡させる（その際は、責任者氏名と所在、連絡先を伝える）」と伝えるなど、関係者と協議し、場合によっては事実関係を整理した上で「現場」まで出向いていくなどの対応を取る

５　お礼と感謝表現

●良いサービスに結びつける

当該事由を伝えていただいたことへの感謝と、今後の改善につなげていく旨を告げる

６　記録と管理・改善

●対応を記録する

一連の流れを【問い合わせ・クレーム対応票】に記録する

●対応の検証・改善を行う

クレーム処理が、迅速かつ正しく出来たかを振り返り、「今後」につなげるため、改善すべき事項があれば改善を図る

●対応票の管理

対応の記録は「財産」にもなるので適正に管理するとともに、研修会等で活用することで、他者への事例提供や啓発に活かしていく

様式⑲

問合せ・クレーム対応記録

氏名		提出日	

受付内容

受付日時	受付者
年　月　日　時　分頃	
相手先（名前、担当者）	連絡先(携帯・電話・FAX)
対象商品	ロット番号、出荷日など
内容・状況(品質・残留農薬・GAP違反・その他)	

対応内容

事実確認・影響範囲
処置
原因究明
是正・改善
是正結果・再発防止策

様式⑳

緊急連絡先一覧

役割分担・緊急連絡先

氏名	○○農場	作成日	平成24年○月○日
TEL	○○○○-○○－○○○○	FAX	

担当者一覧(場内緊急連絡先)

	氏　名	連絡先
農場管理責任者		○○○○-○○－○○○○
農薬管理責任者		○○○○-○○－○○○○
肥料管理責任者		○○○○-○○－○○○○
商品管理責任者		○○○○-○○－○○○○

緊急連絡先一覧

	連絡先	備考
救急車	119	
消防署	119	
○○警察	110	
○○病院		
○○病院		

アドバイザー一覧

	業者・担当者名	連絡先
種苗		
農薬		
肥料		
機械		

様式㉑

事故発生時の対応マニュアル

事故発生、事故発見

↓

被害者の安全確保

↓

連　絡	① 緊急時　救急車・火災　119 番 警察 ・事故　110 番 ② 農場責任者　○○ ○○ 携帯:○○○－○○○○－○○○○ 自宅:◎◎◎◎－◎◎－◎◎◎◎ ・落ち着いて、事故発生場所、状況を説明する ・対応の指示を仰ぐ （人命救助を最優先）

↓

応急処置

傷口から出血している時の処置

傷口の上をガーゼやハンカチで、直接強く押さえてしばらく圧迫する。
包帯を少しきつめに巻くことでも、同様の止血効果がある。
止血後、傷口が汚れている場合は、きれいな水で洗う。

緊急連絡先一覧

	連絡先	備考
救急車	119	
消防署	119	
○○警察	110	
○○病院		救急外来あり
○○病院		

様式㉒

危険な場所・作業・機械一覧

場　所	事故を防ぐ対策

作　業	事故を防ぐ対策

機　械		事故を防ぐ対策
機　械　名	危険箇所	

掲示例①

肥料散布機の　運転前　チェックポイント

□ エンジンオイルの量、汚れ
□ エアクリーナの汚れ、詰まり
□ スパークプラグの確実な取り付け
□ 燃料ストレーナの汚れ、詰まり
□ 駆動Vベルトの張り、ゆるみ
□ 肥料の均一な散布

肥料散布機の　運転後　チェックポイント

□ 肥料散布機の清掃 （肥料が残っていないか。泥など付着していないか）
□ 肥料散布機を所定の場所へ格納し、使用記録を記入する。

※　故障が見つかった時は、「故障中」の表示をし、速やかに修理すること

掲示例②

農薬散布機の　運転前　チェックポイント

□ エンジンオイルの量、汚れ
□ エアクリーナの汚れ、詰まり
□ スパークプラグの確実な取り付け
□ 燃料ストレーナの汚れ、詰まり
□ 駆動Vベルトの張り、ゆるみ
□ 各ホース、ノズルの確実な取り付け
□ 農薬の均一な散布

農薬散布機の　運転後　チェックポイント

□ タンクに残った農薬や、農薬散布機の洗浄水は、環境に影響のない所定の場所へ浸透させる。
□ タンクを洗浄して清水を貯めた後、5分程度清水運転をして散布機・ホースの中を洗浄する。
□ 洗浄が完了したら給水ホースを引き上げ、水抜きをする。
□ 農薬散布機を所定の場所へ格納し、使用記録を記入する。

※　故障が見つかった時は、「故障中」の表示をし、速やかに修理すること

掲示例③

農薬散布時の手順

	項目	注意事項
1	**防除実施の決定**	農薬散布責任者が防除計画、病害虫の発生状況、風量、風向き等からドリフトのリスクを検討し、防除の可否を決定する。
2	**薬剤の選定**	農薬責任者は以下の点を確認し、散布者に指示する。 ①総使用回数 ②使用時期（収穫前日数等） ③使用方法、適用作物、適用病害虫、希釈倍率、使用量 ④使用する農薬の最終有効年月
3	**使用前点検**	①洗浄状況の確認　→　前回使用した農薬が残っていないか ②散布機の確認　→　ノズル、ホース、接合部に異常は無いか ③散布量の確認　→　試運転の実施
4	**準備**	農薬責任者の許可を得て実施する。 ラベルに記載された「使用上の注意」を遵守する。 ①所定の農薬準備場所で実施する。 ②散布予定面積から必要量を計算し、正確に調整する。 ③農薬専用の計量器具を使用する。 ④計量カップ等は使用後に3回以上すすぐ。なお、すすいだ水は散布液のタンクに希釈用の水の一部として移す。
5	**防護服の着用**	ラベルの記載に従う。
6	**農薬散布**	風量、風向き等に注意し、ドリフト防止に心掛ける。 薬液が残らないように、かけムラが無いように適量を散布する。 散布中に異常が発生した時は、速やかに中止する。
7	**散布機の洗浄**	所定の場所で散布機の洗浄を行う。 散布後、速やかに散布機、ホース内、接合部及びタンクを洗浄する。洗浄水は所定の場所に流す。
8	**防護服の洗浄保管**	他の服と分けて洗浄し、所定の場所に保管する。
9	**在庫台帳への記帳**	農薬在庫台帳へ使用量と在庫量を記帳する。
10	**使用記録簿への記帳**	農薬使用記録簿へ所定項目を記帳する。

■農薬事故の際の応急措置

1　飲み込んだ場合

・水を飲ませ、のどの奥を刺激して胃の中のものを吐き出させる

2　皮膚、衣服に付着した場合

・皮膚は石けんで良く洗う

3　目に入った場合

・水道の蛇口から直接か、流水で洗い流す

4　吸い込んだ場合

・日陰に運び、衣服をゆるめ、深呼吸させ、安静にさせる

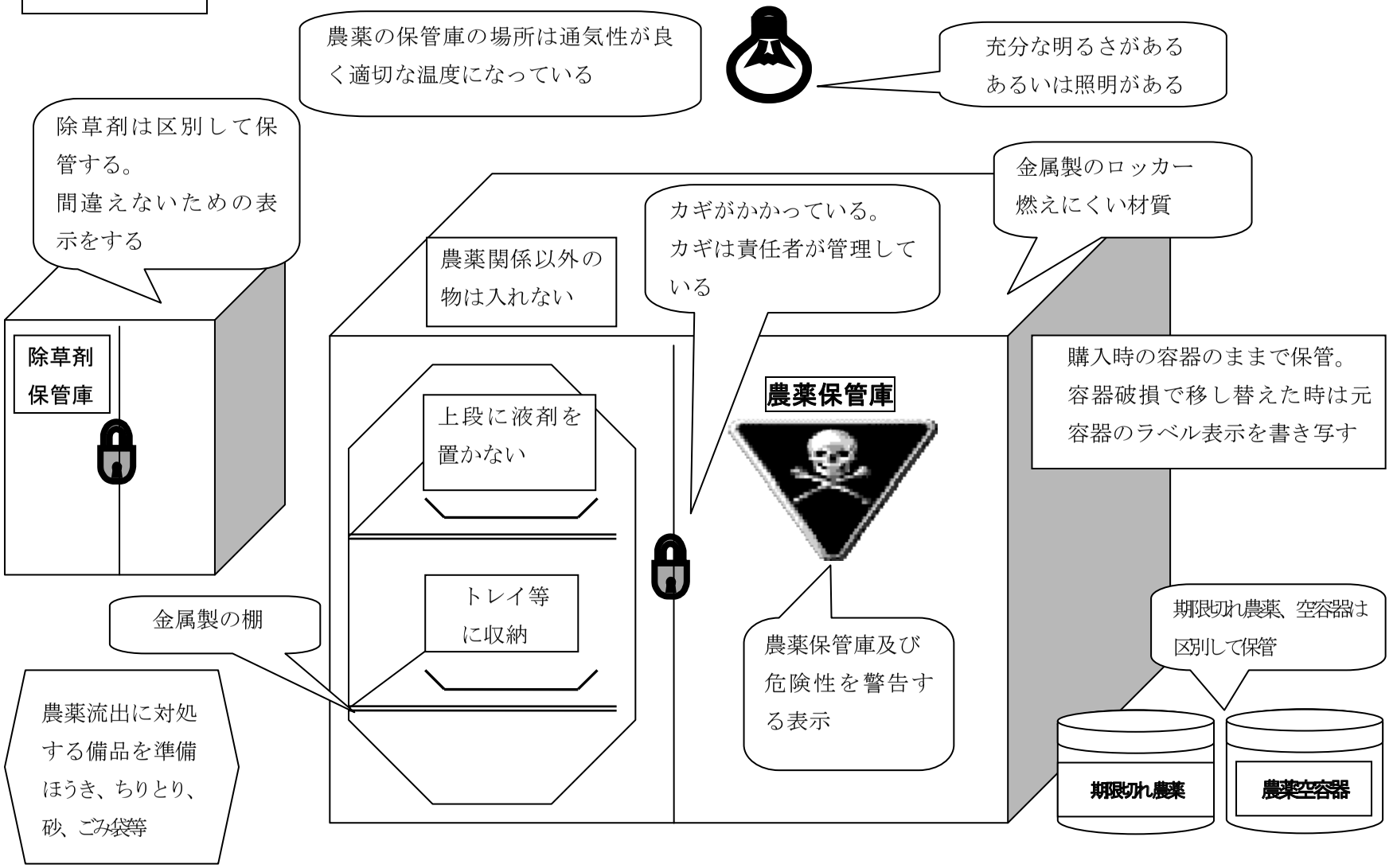
財団法人　日本中毒情報センター　中毒110番

大　阪　072－727－2499　（365日、24時間対応）

つくば　029－852－9999　（365日、9～21時対応）

掲示例④

農薬の適正保管の事例（イメージ図）



掲示例⑤

来訪される方へ

当農場は、農場の衛生管理に努めています。
恐縮ですが、以下の点の遵守にご協力願います。

１　農場に入る前に、くつの土を十分落としてください。

２　圃場や施設に立ち入る場合は、農場関係者と同伴で入ってください。

３　農場の立ち入り禁止区域、危険表示のある区域へは入らないでください。

４　収穫・調製・出荷関連用具（出荷コンテナ、段ボール等）に触らないでください。

５　トイレを使用後は、石けんで手を洗ってください。

６　農場での飲食は、ご遠慮ください。

７　農場内は禁煙です。たばこは、所定の喫煙場所でお願いします。

掲示例⑥

栽培・ほ場管理のルールの掲示（例）

ほ場の衛生

●ほ場に未処理の下水や汚染された水が流れ込まないようにしましょう。
●十分に発酵していないきゅうたい肥をほ場に持ち込まないようにしましょう。
●ほ場内にほ場周辺を清潔に保ち、病原菌を持ち運ぶ蚊やハエ、ネズミなどが繁殖しないようにしましょう。

収穫・調製のルールの掲示（例）

1　作業者の衛生

●感染症に罹っている作業者は、農産物に直接触れる作業はしないようにしましょう。
●作業前とトイレの後は、良く手を洗いましょう。
●ほ場でも清潔な水が使えるように、タンクやボトルで水を持ち運びましょう。
●傷口はバンソウコウと手袋で覆い、傷口が作物に触れないようにしましょう。
●手袋は、定期的に洗浄・交換して、清潔な状態で使用しましょう。
●農薬や肥料などで汚れた衣服のままで収穫や調製作業をしないようにしましょう。
●調製作業の時は、帽子やエプロンなどを着用し、清潔な衣服で作業をしましょう。
●タバコやアクセサリーなどの紛失しやすい小物は、身に付けないようにしましょう。
●飲食や喫煙をしながら作業をするのはやめましょう。

2　器具・用具の衛生

●ハサミやナイフなどの用具は、定期的に洗浄・消毒し、清潔な状態で使用しましょう。
●使用後は、決められた清潔な場所に保管しましょう。
●農産物を入れるコンテナは、定期的に洗浄し破損がないことを確認しましょう。
●動物の排泄物や土が付かないようにしましょう。

3　調製施設の衛生

●作業場や選別機、洗浄器などの施設は、定期的に清掃して清潔に保ちましょう。
●作業場の床は乾燥状態を保ち、病原菌類が増えないようにしましょう。
●作業場の照明は、飛散しない照明器具か飛散防止カバーを使用するなどして、割れても農産物の上に飛び散らないようにしましょう。
●作業場で使用する清掃用品や潤滑油は、食品業界で使用が許可されているものを使用しましょう。
●清掃用品や潤滑油は、農産物と接触しないような場所に保管しましょう。
●作業場の窓や出入り口は、動物や虫が入らないようにしましょう。
●選別で取り除かれた作物やゴミは、決められた場所にまとめ、定期的に清掃・消毒して清潔に保ちましょう。
●農産物の保管場所は、農産物が傷まないように、温度と湿度を適切に保ちましょう。
●温度計や湿度計は定期的に点検し、正しく作動するようにしましょう。
●トイレは、作業場と離れた場所に設置しましょう。

4　運搬時の衛生

●収穫後の農産物は、日光・風雨にさらされないように、覆いをするか、すぐに適切な場所へ運びましょう。
●農産物の運搬に使う車は、定期的に洗浄し、清潔な状態で使用しましょう。

5　洗浄水の衛生

●農産物の洗浄に使用する水は、飲用に適した水を使用しましょう。
●洗浄水をろ過して繰り返し使用する場合は、配管や貯水設備を定期的に点検・清掃し、さびや細菌が発生しないようにしましょう。

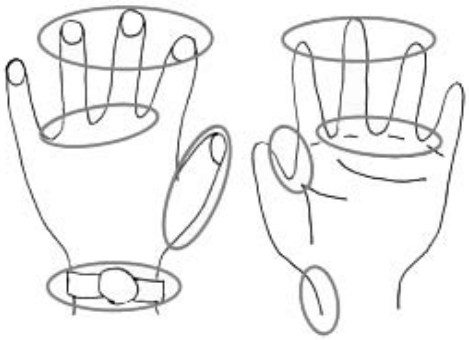
6　訪問者・業者

●農場の訪問者や輸送業者などにも、同様の衛生管理を求めましょう。

掲示例⑦

手洗いのルール

きちんと手を洗ってますか？



●汚れが残りやすいところ

・指先
・指の間
・親指の周り
・手首
・手のシワの部分

●手洗い方法をおぼえよう

(1)流水で手を濡らし、石けんを適量つける。

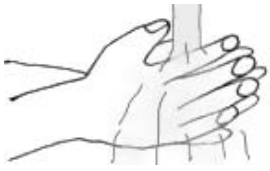
(2)手のひらと手の背を洗う。

(3)指の間を洗う。

(4)親指も忘れずに洗う。

(5)指先や爪の間を洗う。

(6)手首を洗う。



(7)流水中でよく洗い流し、水分をふき取る。

島根県感染症情報センターHPより引用

掲示例⑧

事故を防ぐためのルール

１　次に該当する場合は、機械作業や高所作業などの危険を伴う作業をさせないようにしましょう。

①飲酒して、酒気を帯びている
②薬剤を使用して、作業に支障がある
③病気、負傷、過労により、正常な作業が困難
④妊娠中及び産後１年未満の女性
⑤年少者
⑥教育訓練が不十分な作業者
⑦機械操作や化学物質等を取り扱う作業において、必要な資格を有していない者

２　日常的な配慮

①余裕を持った、無理のない作業計画を立てる
②日頃から健康管理に努め、体調が悪い時は無理をしない
③日頃から、機械や道具の点検・整備を行う
④作業に適した防護装備を着用する
⑤事故や怪我などの緊急時に対応できるように備える
⑥緊急時の連絡先や対応手順を表示する
⑦救急箱や清潔な水を用意する
⑧応急処置（応急手当）の講習を受ける
（病院や消防本部・消防署で行われる応急・救急手当の講習会・日本赤十字社が主催する赤十字救急法救急員講習などの公的な講習や民間による講習会があります。）

■事故が発生した時の措置
１　病院や救急に連絡する
農場の住所【○○市○○町○○丁目○○番○○号】
　連絡先　病院　　：0000－00－0000
　　消防・警察　：119・110
　　保健所　　：0000－00－0000
２　医師や救急隊員の指示に従う

■農薬事故の際の応急措置
１　飲み込んだ場合
・水を飲ませ、のどの奥を刺激して胃の中のものを吐き出させる
２　皮膚、衣服に付着した場合
・皮膚は石けんで良く洗う
３　目に入った場合
・水道の蛇口から直接か、流水で洗い流す
４　吸い込んだ場合
・日陰に運び、衣服をゆるめ、深呼吸させ、安静にさせる

財団法人　日本中毒情報センター　中毒110番
大　阪　072－727－2499（365日、24時間対応）

3　事故やケガの防止

事故やケガを未然に防止するには、ほ場周辺や作業場内に事故やケガにつながる恐れのある危険な場所がないか、ケガにつながる恐れのある機械や作業がないかを把握し、事故やケガが発生しないような作業の仕方や警告表示などの工夫をすることが大切です。

①転落・転倒事故の危険性
・ほ場入り口の急傾斜、急な畦畔や崖、高所作業車や倉庫などの高所作業、など
　→こまめに除草する、目印をするなど危険箇所を目立つようにする、転落防止柵などの設置、など
②挟まれ事故の危険性
・歩行用トラクターのクラッチミスなどによる挟まれ、貨物用昇降機やアタッチメントなどによる挟まれ、など
　→後方や周囲を確認する
　→昇降機下を進入禁止にする
③巻き込み事故の危険性
・トラクターのロータリーへの巻き込み、フィードチェーンへの巻き込み、など
　→回転部へのカバー、回転部付近を触れる際は必ずエンジンを止める、など
④火災・爆発事故の危険性
・燃料漏れによる発火・爆発、農薬や肥料などの化学物質の化学変化による発火
　→燃料タンクの点検、火気取り扱いの注意

■一般的な救急箱の中身
〈医療用具〉
□体温計　□ハサミ　□ピンセット　□毛抜き
〈衛生材料〉
□ガーゼ付き絆創膏　□絆創膏　□包帯
□三角巾　□綿棒　□綿球　□ガーゼ
□脱脂綿　□油紙
〈外用薬〉
□消毒用アルコール　□オキシドール　□うがい薬
□目薬　□湿布薬　□軟膏
〈内服薬〉
□総合感冒薬　□解熱薬
□酔い止め薬　□胃薬　□整腸薬